

2013年10月22日  
株式会社川島織物セルコン

## 被災地 J-VER を採用

### 環境配慮型商品「カーボン・オフセットタイルカーペット」に

株式会社川島織物セルコン（本社：京都市左京区 社長：中西正夫）は、環境配慮型商品向けカーボン・オフセット<sup>※1</sup>用の排出権の購入を、国連認証の京都クレジットから J-VER<sup>※2</sup>に変更し、一部に東日本大震災被災地の復興支援となる「被災地 J-VER<sup>※3</sup>」を採用しました。

当社は 2008 年より、環境配慮型タイルカーペットの製造時に発生する温室効果ガスを、リサイクル裏材の採用とカーボン・オフセットの併用で、従来品比 50%削減する取り組みを実施しています。現在、リサイクル裏材の採用による削減が 20%まで可能となり（2008 年の実施当初は 13%）、残る 30%をカーボン・オフセットで削減しています。このたび、カーボン・オフセットの対象となる温室効果ガス排出権の購入先を、海外のプロジェクトより、当社主力製品であるカーテンの原料加工工場から創出された日本国内のオフセット・クレジット（J-VER）に変更し、また被災地への経済支援を目的に定められた東日本大震災被災地で創出されたオフセット・クレジット「被災地 J-VER」を、一部加えました。

今回採用の「被災地 J-VER」は、岩手県大船渡市のセメント工場でセメント焼成時に使用する石炭に代わり、被災地で生じたがれきを代替燃料として活用し、石油由来の温室効果ガスの削減を図る仕組みです。CO<sub>2</sub> の削減はもちろんのこと、がれき処理の推進、震災復興で需要が高まるセメントの生産など、被災地の復興支援に貢献する J-VER です。

川島織物セルコンは、これからも、温室効果ガスの削減や東日本大震災の被災地復旧支援など、社会課題の解決に向けた活動に取り組んでまいります。

- ※1 カーボン・オフセット 排出される温室効果ガスの全部または一部を、他の排出削減プロジェクトなどで実現された削減量を用い埋め合わせる（オフセットする）こと。
- ※2 J-VER 国内のプロジェクトによる温室効果ガスの排出削減・吸収量をカーボン・オフセットに用いられるクレジットとして環境省が認証するもの。
- ※3 被災地 J-VER 被災地での低炭素社会の実現に貢献するプロジェクト。被災地の雇用拡大や経済発展への寄与が期待される。

このリリースに関するお問い合わせ

企画・管理部経営企画・広報グループ TEL:075-741-4316

当リリースは、京都経済記者クラブに配布し、当社ホームページでも発表しています。

川島織物セルコンは、LIXIL グループの一員です。